

大きくなーれ、どでカボチャ!

5月の終わりごろに、ぼくたち3、4年生は今西健三さんの畑にどでカボチャを植えた。来た最初はカップに入っていて巻きひげがあった。巻きひげは白い毛があつて、さわつたらうぶ毛の感じでかわいかった。

植えた時には、健三さんや地域の今西さん、むつきくんのお父さんたちが手伝ってくれた。とてもうれしかった。お世話をがんばろうと思った。

2学期が始まって、久しぶりに見に行ったら、どでカボチャの実が大きくなっていた。去年と同じぐらいに大きくなっていたが、健三さんは、「これぐらいはまだ小さい」と言っていた。ぼくは、それを聞いてまだ大きくなるんだとおどろいた。

大きくなったカボチャは、どでカボチャ大会に持っていくことになる。そこへ持って行って1位を目指したい。



(拳ノ川小学校 4年 今西 遥斗)

避難してください!

黒潮町総合避難訓練に、上川口郷の人たちにたくさん参加してもらえるように、「明日もいっしょに空を見よう」とキャッチコピーを考えて、ポスターやチラシを作り、1軒ずつ配りながら参加を呼びかけました。

30日は町全体にサイレンが響き渡り、Shakeoutのダンゴムシになって頭を守りました。その後、担当しているお家に「避難してくださいーい!」と呼びかけながら7軒回りました。地域の人はほとんど避難してくれていてホッとしました。中には玄関まで出てくれた人、ぼくたちが行くのを待ってくれていた人もいたそうです。「あんたらあが来てくれたけん」と、杖をつきながら来てくれた人や、一生懸命歩いてきてくれたおじいさんもいて、がんばってくれてよかったです。と思いました。たくさんの方が避難していて、任務終了です。



(上川口小学校 4年 菅 波也人 5年 金子 瑛太)

かかりがましい防災

僕は1年生のときから防災委員会に入っています。避難訓練に関して日頃から思っていることは、佐賀中の生徒は、「緊急地震速報が流れたら、素早く身を守る行動が取れること」「私語が少なく、一生懸命走って避難できること」「集合が早いこと」が良いところだと思います。

8月30日には「黒潮町総合防災訓練」があり、僕たち中学生も自分の住んでいる地域の避難訓練に参加しました。僕が住んでいる坂折という地域では、全員が素早い行動がとれ、区長さんの話が聞けるようにしっかりと協力できていたと思います。地域の人の防災に対する意識の高さを感じ取ることができました。

佐賀中学校では学校だけでなく、地域とともに「かかりがましい防災」に取り組んでいます。「かかりがましい」とは、おせっかいという意味で、悪い言葉と捉えられるかもしれませんが、しかし、災害時には、「かかりがましい」人と人のつながりが、命を救うことになります。犠牲者ゼロのまちを目指し、「かかりがましい」防災を今後も継続していきたいと思います。



(佐賀中学校 2年 浜田 錦一郎)